6年生
レベルアップ計画

① ６年生とは？

北小学校の顔
北小学校を支える存在

② ６年生の現状はどうなっている？

（強み）	（弱み）
・他学年の面倒をよく見ている。 ・率先して自ら動いている（率先垂範）。 ・凡事徹底ができている。 ・よく考えて行動している。 ・自分たちの良さを生かして行事に参加しいる。（一生懸命さ、真面目さ） ・何事も継続して行うことができる。 ・素直に受け入れ、実行することができる	・新しく行う場面や、授業の中で誰かが動き出すのを待っている。（返事、提出、動き出し） ・一定の人が前に出るのを待っている。 ・声が小さい。

③ ６年生が目指す姿は？

金	全員が自分で考え、行動する。 自信がなくても失敗しても行動してみる。 常に声の大きさを意識する （相手に届く声、上向きの声の意識）
銀	自分で考え、動ける人が増える。 自信がないときは、周りに相談しながら、行動してみる。 見えるところに声の大きさの掲示をする。
銅	声をかける場面を増やし、行動できるようにする。 行動してみようという声掛けをする。 声の大きさについて、その都度声掛けをする。

④ ②から③へどうやったらいける？

キーワード
自信と行動でつなぐ北小のリーダー
テーマ 自信をもって行動し、みんなの背中を押す６年生に。 →失敗を恐れず、挑戦からつながるリーダーへ。
柱１ 自分で考え、動く力をつけよう！
柱２ 声と表情で伝える力をつけよう！
柱３ 仲間とつながり、支え合う力をつけよう！

⑤

	ねらい	手立て
柱１	誰かが動くのを待つのではなく、「自分がやる」という意識でいる。	「まず自分がどうするか」を考えてから行動する。 学級会や行事準備で「自分発」の意見や提案をする。 「行動した人」を全体で称える。
柱２	相手に届く声・姿勢を意識し、リーダーらしい発信ができるようにする。	朝の会や発表で「上向きの声」を意識する練習。 「声の見える化」掲示を使って、日常的に意識づける。 ペアやグループでの声かけ活動 （互いに「聞きやすい声」をフィードバック）。
柱３	自信がない時でも、仲間と支え合いながら一歩踏み出せる集団をつくる。	振り返りの場で「仲間の良い行動」を見つけ、言葉で伝える。 行事や日常で「チームとしての成長」を意識してふり返る。